



小平市ゼロカーボンシティ宣言

2050年二酸化炭素排出実質ゼロ エコダイラシティを目指して

地球温暖化に起因するとみられる深刻な気象災害が世界各地で発生しています。このような現象は本市においても例外でなく、夏の異常な暑さや集中豪雨、大型台風など、今まで経験したことのない気象災害が、私たちの生命や健康、生活を脅かしています。

2015年に採択されたパリ協定により、「平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」ことが世界共通目標となりました。国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告書には、2018年に「地球の平均気温上昇を1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることが必要」、2021年には「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と示されています。

国においても、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しています。

小平市は、2022年10月に市制施行60周年を迎えます。先人から受け継いできた小平市の豊かな自然環境を将来世代に引き継いでいかなければなりません。今を生きる私たち一人ひとりが環境に配慮した取組を一つずつ着実に進めることで、気候変動による危機的状況を回避し、環境にやさしいまち「エコダイラシティ」を確立する必要があります。

こうしたことから、小平市は、国や東京都と連携し、市民・事業者・教育機関等の多様な主体と力を合わせて地球温暖化対策に取り組み、2050年二酸化炭素排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティの実現を目指すことを、ここに宣言します。

令和4年2月8日

小平市長

小林洋子

